

# 好学尚武

## 人生の一部

野球界を悪く言われるのは大変嫌なものです。それも「薬物」となると・・・「嫌」を乗り越えて「悲しい」感じがします。

担当する「保健」の授業で現在この分野を扱っています。よく考査の際、薬物の使用によって失われるものを答えさせる問題を出しますが、正直これは基本何でも正答のサービス問題となります（失われるものが無数にあるからです）。

「生きていく上でプラスになるから野球をしている」ハズなのに「野球をすることによって人としての道を外れる・・・」最悪です。

スポーツ界は（大学、高校共に）いい加減、変わらなければならないのではないのでしょうか？今のままでは今後も悪い問題が起き続けると思います。「スポーツ推薦」による「勉強軽視」と「部員数の超過」これがすべてだと思います。

（様々な意見はあると思いますが）私が市高野球部員に話しているのは、大学には「(受験)勉強をして」入るべき。また、大学では「(資格取得など)社会で生きていくための勉強をした方が良い」・・・というもの。実際、79名の卒業生を出していますが、スポーツ推薦での進学者はゼロという形になっています（野球を続けている者も全員一般受験で合格を勝ち取っています）。

その人—その競技=0

そうなっては絶対にダメです。

野球は間違いなく人生の一部です。

（勘違いしないように・・・）

それにしても「薬物」とは・・・悲しすぎます。

## あいさつ

（雨の日が多くグラウンドで活動をできない日が多かったこともあり）中学校時代お世話になった先生に手紙を書くという練習をしました。

感謝の心を持つことは大切、また、今年の1年生はコロナの影響もあり、中学校卒業時に（先生方と）十分な時間を持てなかったのでは・・・我ながら良い練習では・・・と思いました。

ところが・・・部員達を書いた手紙をどうするか・・・考査になるからオレが中学校に届けるよ・・・軽くそう答えてしまったのです。

ここからが色々な面で大変でした。

想像してみてください。

各中学校、車で到着後、その駐車場から事務室等に行くまでの間・・・ハッキリ言って私みたいな存在は「不審者」状態なのです。

● 坊主の大人 ● ヒゲ ● マスク姿・・・

学びました。大事なのは「あいさつ」なのです。あいさつをした瞬間、学校関係者の方の警戒心が和らぐのを感じました。また、あいさつが早口だったり、小さい声だったりするとダメなことにも気付きました（余計不審者になる・・・）

また・・・手紙を持参というのは雰囲気さをさらに和ませることも学びました。

事務の方「〇〇先生も喜ぶと思います」

私「引き続き市高をよろしくお願いします」

その後の話がスムーズに進みました。

複数の先生に「夏の大会を観に行くから頑張れと伝えて下さい」という言葉をいただきました。

「観ていただける選手」にならなければなりません。頑張りましょう！

改めてになりますが、しっかりとした「あいさつ」ができる生活を心がけましょう。不審者にならないように・・・